



富士キメラ総研
[2016 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧]

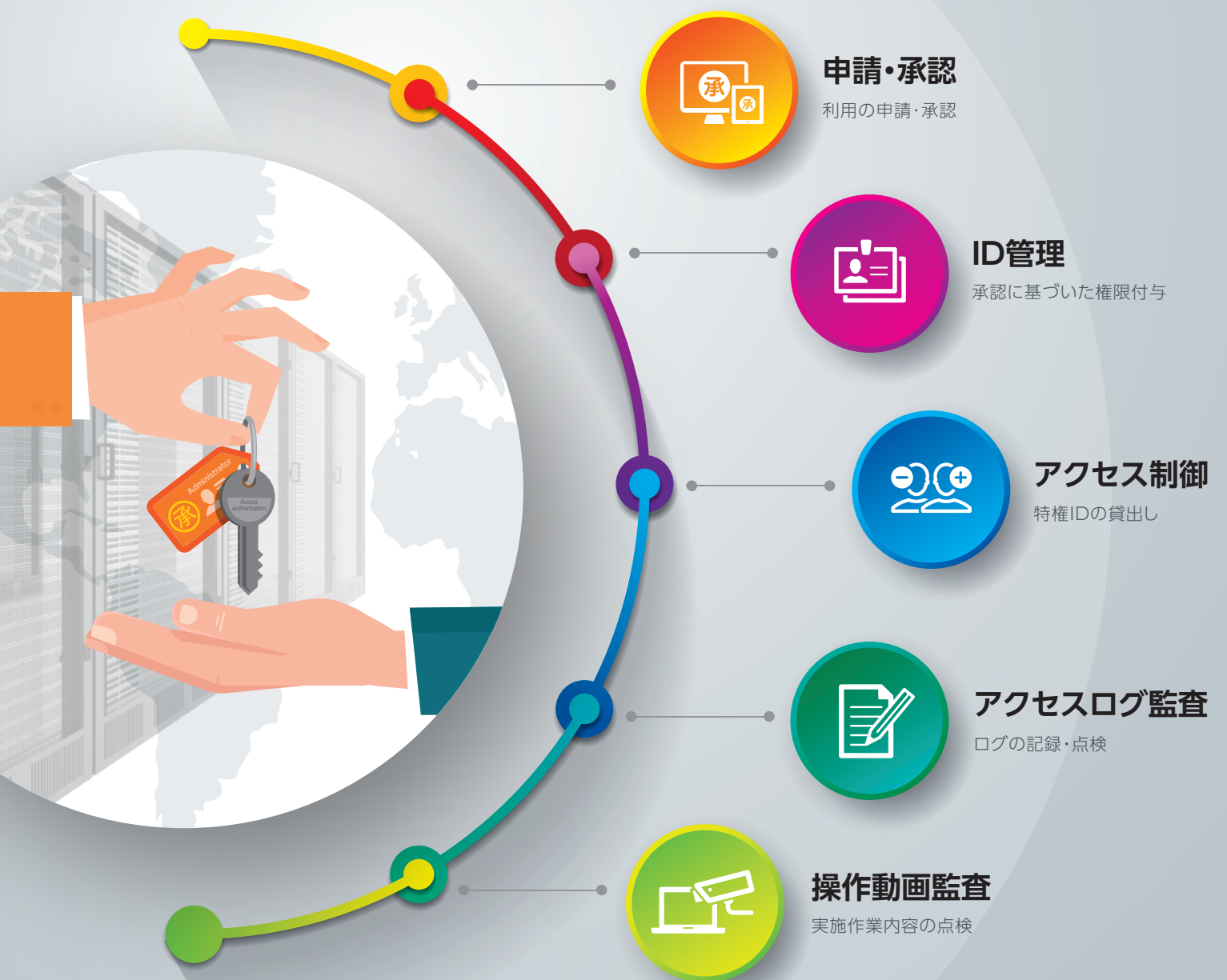


特権 ID 管理ソリューション

コンソールガード

アクトセンター

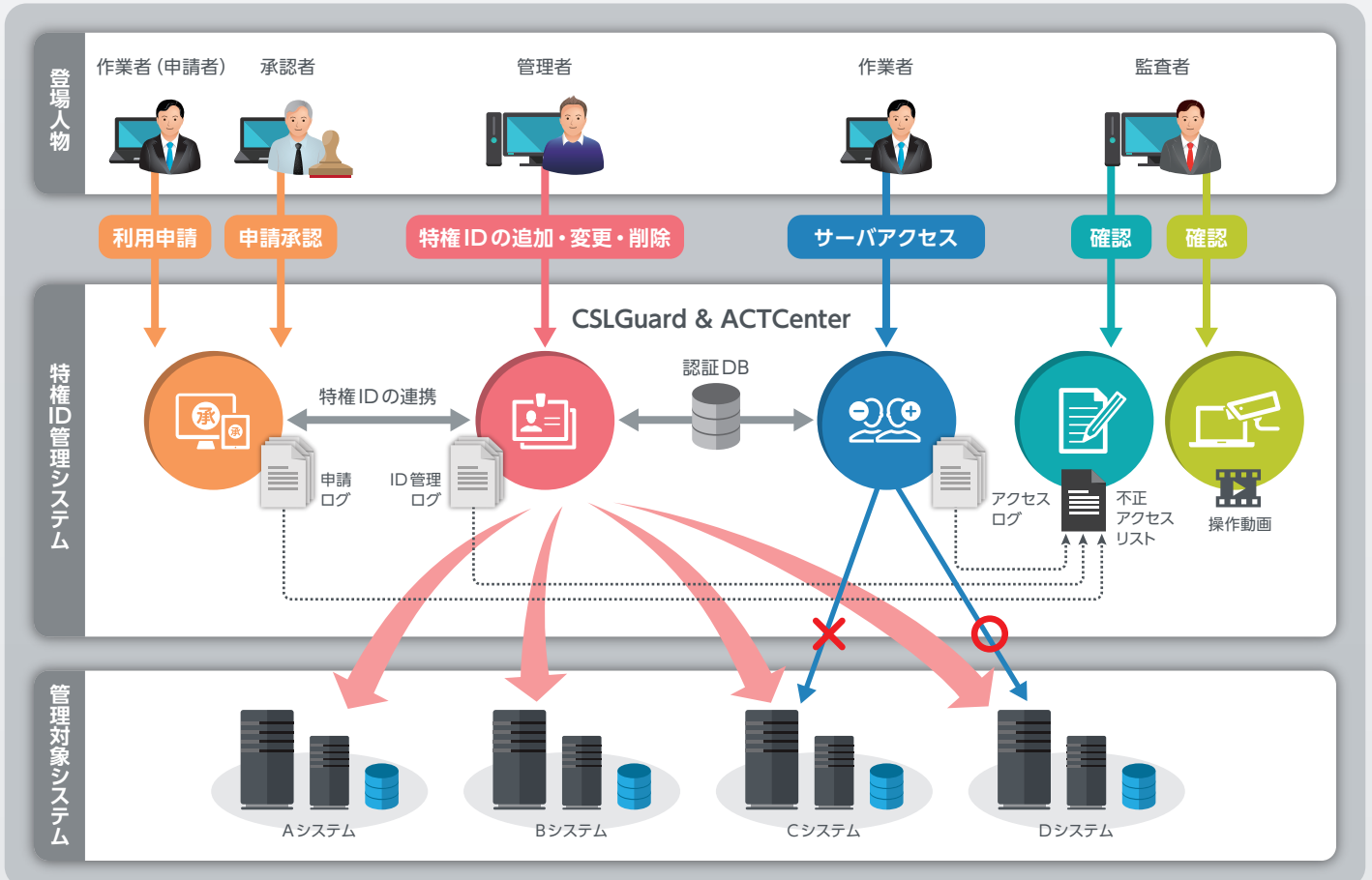
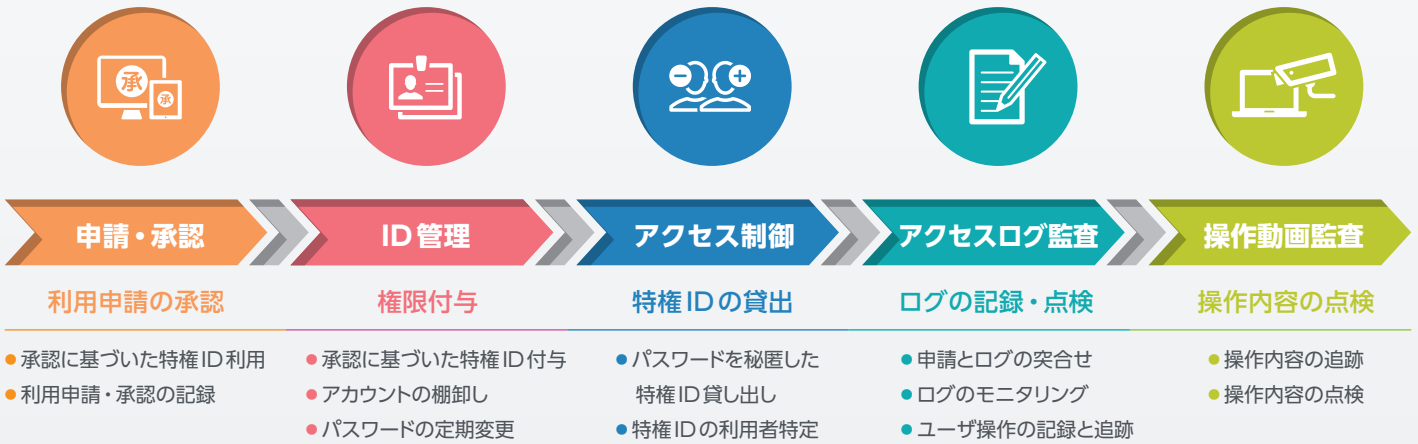
CSLGuard & ACTCenter



特権IDをプロセスで管理 内部不正の早期検出・監査を効率化!

特権IDの不正利用による情報漏えい・事故が後を絶たず、厳密な統制・管理を求められています。ID全般統制や、各種法令・基準 (PCI DSS、FISC 安全管理対策基準) など、企業が求められる対策を5つのプロセスで効率的に管理することで、内部不正の早期検出・監査の効率化を実現します。

特権IDプロセス



4つの特長

特長

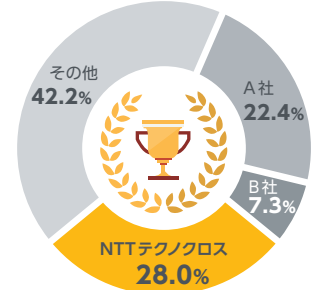
1

3年連続国内シェア第一位

CSLGuard & ACTCenterは、1999年に大手都市銀行様の声から生まれたソリューションです。その後、多くの金融機関様を選んでいただくことで、厳格な運用をいかに確実かつ効率的に実現するか、改善を繰り返し長年ノウハウを培ってきました。

そのノウハウは現在、多種多様な業界から信頼をいただいております。国内シェアNo.1をいただいております。

● 特権ID管理ツール出荷金額シェア<2015年度>



富士キメラ総研 [2016 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧]

特長

2

各種法令・基準に対応し監査を効率化

金融機関に求められる内部対策の基準 (FISC 安全管理対策基準、金融庁検査マニュアル) や、クレジットカード業界のセキュリティ基準 (PCIDSS) など、各種法令・基準が求めるアクセス統制が行えます。

求められる監査に必要な機能が標準装備されており、効率的に対応できます。



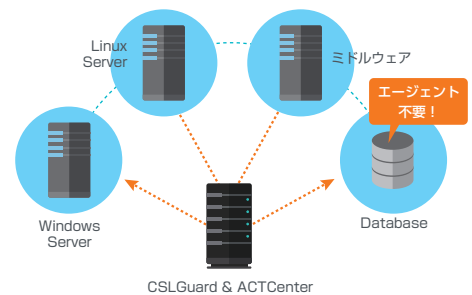
特長

3

エージェントレスで幅広く管理

管理対象システムに、モジュールやエージェントソフトをインストールする必要はございません。既存のシステムやネットワーク構成に一切影響なく、導入・展開が行えます。

また、OSのみならず、データベースや仮想環境(ハイパーバイザー)など幅広く特権ID管理が行えます。



特長

4

導入・保守運用支援を万全にサポート

特権ID管理は、お客様のシステム全体を管理する重要な要素です。反して、システムを取り巻く環境は、「現在の運用への影響を少なくしたい」、「運用に関わる人と役割が多岐に渡る」、「仮想環境・クラウド環境などシステム環境が複雑化」など、課題が山積しています。

豊富な支援実績から運用を知り尽くした専門SEが、現状のシステム運用を踏まえた最適な導入プランをご提案し、保守・運用の定着化を支援いたします。



CSLGuard & ACTCenter の主な機能



申請・承認

特権IDを利用した作業の申請・承認ワークフロー機能です。承認プロセスを職務分掌に沿って実施し、承認から特権IDの貸出しを申請ステータスに基づいて行います。

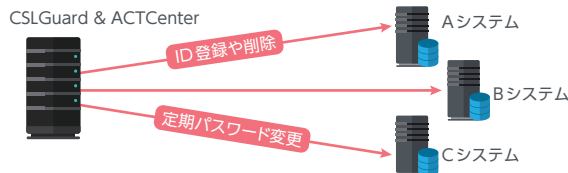
- 承認に基づいた特権IDの自動貸出し
- 承認者不在時の緊急利用 (事後承認)
- 多段承認への対応
- 想定外作業発生時の延長申請



ID管理

特権ID管理者が実施する管理作業を、自動化する機能です。申請・承認と連動した特権ユーザへの特権IDの貸出しや、申請した利用終了時刻後の権限回収、また、定期的を実施するパスワード変更、アカウント棚卸しなどの管理作業を自動化します。

- IDの抽出・登録・変更・削除
- パスワード定期変更
- アカウントの棚卸し



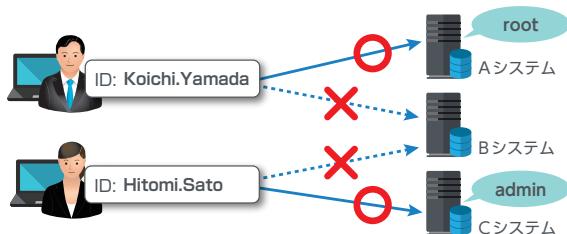
ツリー表示で分かりやすく一元管理



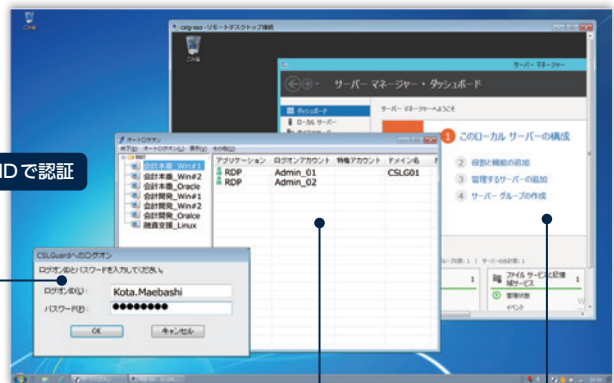
アクセス制御

rootやAdministratorなどの共有IDでも、利用者を特定した形で、許可を与えた特権ユーザのみに特権IDを貸出す機能です。

- 承認された特権ユーザのみへの特権IDの貸出し
- 共有IDの利用者特定
- パスワードの秘匿



個人IDで認証



利用可能サーバ一覧の表示

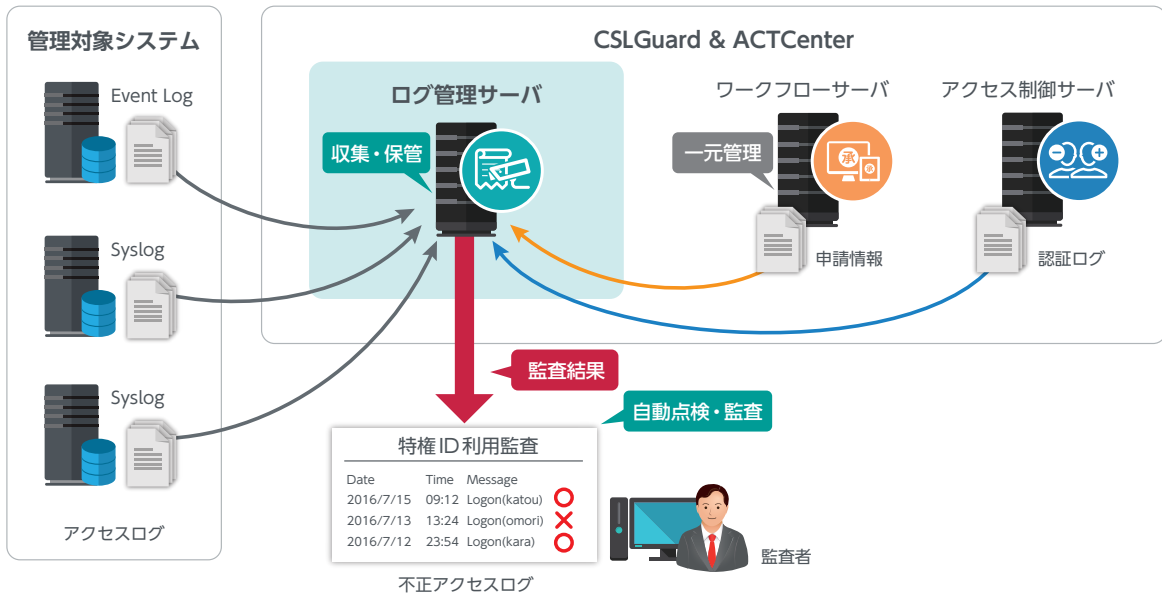
パスワード貸出しの実施



アクセスログ監査

アクセスログを収集し、作業申請と、特権IDを利用した実際のアクセスログを突合せ、点検・監査を実施する機能です。作業申請とアクセスログの突合せは自動で行い、未承認での利用を簡単に発見できます。

- アクセスログの収集・保管・検索
- 作業申請とアクセスログの自動突合せ
- 未承認利用の検出と通知
- 監査レポートの作成
- コンソールログオンの点検にも対応



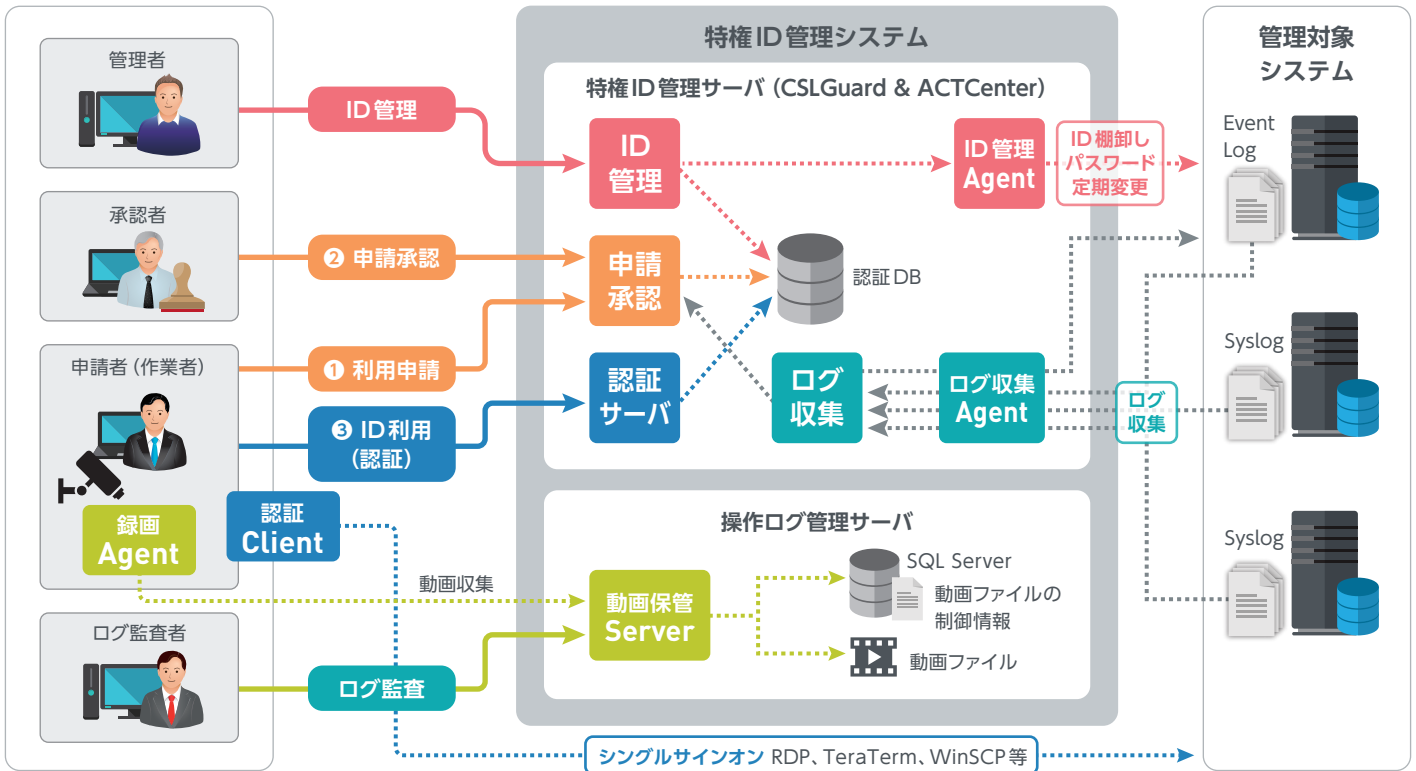
操作動画監査

特権ユーザによる操作を動画で記録し、証拠として保存する機能です。アクセスログ管理機能と連携し、監査レポートから未承認利用の操作に絞り、効率的な点検が行えます。

- 操作の録画・検索
- 高画質・低容量の動画保管
- ユーザ操作に絞った効率的な再生



システム構成図例



凡例 —

- 実線: 人による操作
- 点線: システムによる自動処理
- (Red): ID管理機能
- (Orange): 申請・承認機能
- (Blue): 認証・シングルサインオン機能
- (Green): 操作証跡機能
- (Grey): ログ収集機能

動作環境

■ 特権ID管理サーバ環境

対応OS	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows Server 2008 / 2008 R2 ・Windows Server 2012 / 2012 R2
対応仮想環境	・VMware ESX/ESXi 5
CPU	2.0GHz 以上のプロセッサデュアルコア以上
メモリ	2GB 以上 (※OS、データベース等は除く)
ディスク	40GB以上の空き容量 (ログファイル容量は除く)
その他	以下のデータベース製品が必要です ・Oracle Database 11g R1 SE / SE One for Windows/Linux ・Oracle Database 11g R2 SE / SE One for Windows/Linux ・Oracle Database 12c R1 SE / SE One / SE 2 for Windows/Linux 管理画面の利用には、以下のブラウザが必要です ・Internet Explorer 7.0 / 8.0 / 9.0 / 10.0 / 11.0

■ 利用者端末

対応OS	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows Vista (Business/Ultimate/Enterprise) ・Windows 7 (Professional/Ultimate/Enterprise) ・Windows 8.1 / 10 (Pro/Enterprise) ・Windows Server 2008 / 2008 R2 (Standard) ・Windows Server 2012 / 2012 R2 (Standard)
CPU	1.0GHz 以上のプロセッサ
メモリ	1GB 以上 (※OS等は除く)
ディスク	50MB 以上の空き容量 (ログファイル容量は除く)

■ ID管理対象

対象OS	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows 7 ・Windows 8.1 ・Windows Server 2008 / 2008 R2 ・Windows Server 2012 / 2012 R2 ・Red Hat Enterprise Linux 4 / 5 / 6 / 7 ・SUSE Linux Enterprise Server 10 ・IBM AIX ・Oracle Solaris ・HP-UX
対象ディレクトリ	<ul style="list-style-type: none"> ・Active Directory 2008 / 2008 R2 ・Active Directory 2012 / 2012 R2
対象DB	<ul style="list-style-type: none"> ・Oracle Database ・Microsoft SQL Server
対象仮想環境	・vCenter Server

※ 上記以外の対象につきましても多数実績がございますので、お気軽にお問い合わせください。
 ※ 本資料に記載されている内容は予告なく変更する場合があります。

■ 開発元



NTTテクノクロス株式会社
 特権ID管理ソリューション担当
 TEL.03-5782-7261 FAX.03-5782-7221
 E-mail : hpssso@cs.ntt-tx.co.jp
 製品URL : <https://www.ntt-tx.co.jp/products/privilege/cslact.html>
 URL : <https://www.ntt-tx.co.jp/>

■ 販売代理店

※価格のお問合せは、販売代理店またはNTTテクノクロスの営業まで。